

町田市議会議員

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

諸派(会派は解散)

給与改正案の条例に反対した理由

市長の退職金を無くす内容がないので、今回の給与の改正案に反対しました。12月11日、町田市議会第4定例会の総務常任委員会が開かれ、本会議から付託された案件を審査しました。

補正予算は内容に目立ったものがなく、全会一致で賛成となりました。条例では、「町田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」が提案されました。職員の給与を若干引き下げるものでしたが、それに異論がある議員はいませんでした。ただし、私はかねてから市長退職金問題で、市長がそれを貰わないでよいと言った件に関して、それを実施すべきだとしてきました。

私がこの問題を一般質問で取り上げた以降、市長はあわてて積み立てていた退職金分を受け取っていました。そのことは、次の議会の私の質問に対して総務部長がこの事実を明らかにしたことで判明しました。

八王子市は、市長が就任前に自身の退職金を受け取らないと発言していたことで、当選後、直ちに、自分が退職金を受け取れないように、条例改正案を市議会に出して歓迎されていました。

こうした経過を見れば、今回の条例改正に際して、市長が退職金を受け取れないようにした改正案を出すべきだったと主張しました。よって、今回の条例案に反対しますと締めくくったわけです。

その議案を所管する総務常任委員会に私が所属している関係上、他に本会議の発言はありませんでしたが、内心他の議員にも私に共感があるように思えました。

風致地区条例の制定について

東京都が管轄していた「風致地区」の指定を町田市が新たな条例を制定して管轄することになりました。

街の景観維持や緑地の保全に関して、行政が一定エリアを「風致地区」に指定することの意義は大きいと思われます。周辺環境を無視して自由に建物や工作物が建てられると街の景観は乱れたものになり、また、看板やポスター類が散乱すると街の美化が低下します。無論、こうした状況は市内の随所で見かけることですが、町田市中心市街地のような場所を改変していくのも容易ではないし、個人の財産権との兼ねいで「風致指定」も難しい課題だと思います。現実的には局所的に「風致地区」の指定を取り入れ、その実績の推移を中長期的に見守るべきものと思います。

緑地地域の保全と言う課題では、市街地部分の緑地を行政が買い上げる方法では、自ずと場所が限定されるでしょう。今後の課題では、土地の有効利用の高度化(高層の建物を容認する)地域を指定する一方で、そのエリアでは緑地部分の負担を求める手段で緑地を増大する手法が相応しいのではないのでしょうか。



★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(市議会議員)

町田市議会議員

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



インタビュー生募集中



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修生レポート ⑥ 金子 有里恵

町田市議会にて一般質問の議会を傍聴しました。この日、生まれて初めて議会というものを傍聴しました。傍聴する前は学校での生徒総会と同じような会なのだろうと思っていたのですが、実際は異なりました。学校での総会は、総会の前にある程度質疑応答の内容は決まっており、全て台本どおりです。事前に決まっているもの以外の質問が出ると回答する際に戸惑ったり、返答を次回の総会にまわしたりしていました。そんな学校での総会とは異なり、市議会では個人個人明確に仕事内容を把握しているので、驚くほどスムーズに議会は進められていました。

特に驚いたこととしては、1人の議員の議題に60分という制限時間が設けられており、時間になるとマイクが切れてしまうことです。話が中途半端なところで終わってしまったので、マイクが切れる仕組みが果たして良いことなのかということに関しては疑問に思いました。おそらく、制限を設けないと会が延びるという問題が生じるからでしょうが、他に方法はないものかと思います。

ひとつ気づいたこととしては、回答者が市長の名前になっていても、実際に答える人は市長ではなく分野ごとの担当者でした。元々それらの担当者が回答する予定ならば、なぜ直接彼らが回答せず一旦市長を通してからそれらの担当者に代わるのかということ、疑問に思いました。

* 60分ルールは、大半の議員はなじんでいません。また、議員の質問には市長が本来答弁するべきであり、他市議会では1回目の答弁は原則市長が行なっています。

小泉 愛佳 研修レポート 2-1

町田美術館では全国大学版画展が催されており、美大関係者が多く会場に駆けつけていました。普段絵画に無縁とっていい私でも、同世代の人達の作品ということもあってか、自然に見入ってしまいました。この版画展では、最後に投票スペースが設けられており、自分とは分野が違うものの将来への第一歩としてこうした絵画展の活動を行っている彼らに対し、自分も夢に向かい大学生活を爽りあるものにしようと感じました。(原稿の一部)(第33期 フェリス女学院大2年 小泉愛佳)



*全国大学版画展は、町田市立国際版画美術館が主催し、全国の美術系大学の学生が出展するもので、今回で第38回目の開催でした。期間中、学生や指導者の教授・講師や一般来館者を含め、3,000人近くの来館者があるそうです。この美術館は地味な存在と思われていますが、全国の美術専門家や愛好家や学生にも評価が高い施設です。私は、この美術館の友の会に入っており、行事のボランティアで参加する機会があります。(吉田つとむ記)

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com

mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp